

キャラクター名
門矢 詩紋

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	高校生
	キュマイラ					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	渴望	衝動	破壊	初期侵食率		33 %
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	好敵手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	6	1	0			7	行動値	3
感覚	0	0	0	1		1	(非装備時)	3
精神	0	0	0	1		1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転	2		芸術			知識			情報	UGN	1
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
天元突破		7r	2	6		1+2。"ドリル"に手を变形させ"螺旋力(レナゲイド)"を身に纏う
シモンインパクト	白兵	14r+1	2	6/21		3+4。"ドリル"で相手を扶る
天元突破・ギガドリルブレイク	白兵	14r+1	2	7D+6/21		3+4+5(80↑)。"ドリル"に"螺旋力"を載せて突く

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
対抗種	Pもうひとりの	N 相棒		
神鳴 良太	P 尊敬	N 悔悟		
ヴィラル	P 友情	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	2	3d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
完全獣化	5	6	マイナ	至近	自身	【肉体】	-	
効果： 【肉体】で判定時のダイス+[LV+2]								
一角鬼	1	3	マイナ	5m	自身	-	-	
効果： 素手変更。攻撃力+[Lv+5] ガード値：2								
コンソレイト：キュマイラ	2	2	Xジャー	至近	自身	シンドローム	-	
効果： クリティカル値を-[Lv](下限7)								
鬼の一撃	3	2	Xジャー	武器	-	白兵	-	
効果： ガードされたら攻撃力+[Lv*5]								
神獣撃	5	2	Xジャー	武器	単体	【肉体】	80↑	
効果： 完全獣化中のみ可。+[Lv+2]D、終了後獣化解除								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「——俺の"ドリル"は、天を突く"ドリル"だァァァッ！」

幼少期に両親を失った。そのため、孤児院に引き取られることになる。当時、両親を失ったことも相まって塞ぎ込みがちだった詩紋。そんな彼に手を差し伸べたのが「神鳴 良太(かみなりょうた)」だった。神鳴はむちゃくちゃな人だったが、そんな性格の彼に詩紋は心を救われる。そういったこともあり、元気になった詩紋は神鳴によくひっつくようになった。それから長い時間を過ごしていくうちに、彼らは「義兄弟」へとなる。

10歳の頃、UGNの勧誘があったために孤児院で生活しながらもイリーガルとして神鳴と一緒に活動することになる。ある任務で強力なジャームに襲われた彼ら。ボロボロになりながらも対峙していると、隙を突かれて詩紋に止めの一撃が入りそうになる。その時、神鳴が詩紋を庇い、死亡。「アニキ」と呼び親しんできた者を持った詩紋は激情に駆られながらそのジャームに復讐するかのようにはたすら攻撃し続けた。しばらくして、正気に戻った彼が傷の治療も兼ねてホワイトハンドで検査を受けているとあることが発覚する。彼のレナゲイドが「対抗種」に変化していたのだ。担当した者の話を聞くと「おそらく、ジャームに対する憎悪と、親しいものの死が相まってレナゲイドが進化したのではないか」とのこと。

「アニキ」を失ってすっかり意気消沈してしまった彼を変えたのは、「ヴィラル」だった。ヴィラルは同期のUGNチルドレンで、犬猿の仲だったのだが、あまりにも詩紋が立ち直らないのでそのことに激昂。立ち直らせるために、はたすらに構い倒し、思いの丈をすべて吐き出させた。そのかいもあって、詩紋は立ち直る。

それからというものの、彼はめまぐるしい活躍を見せることになる。次々と任務の成功を収めていった彼は、その活躍を認められわずか15歳でありながら支部長へと任命されることになった。